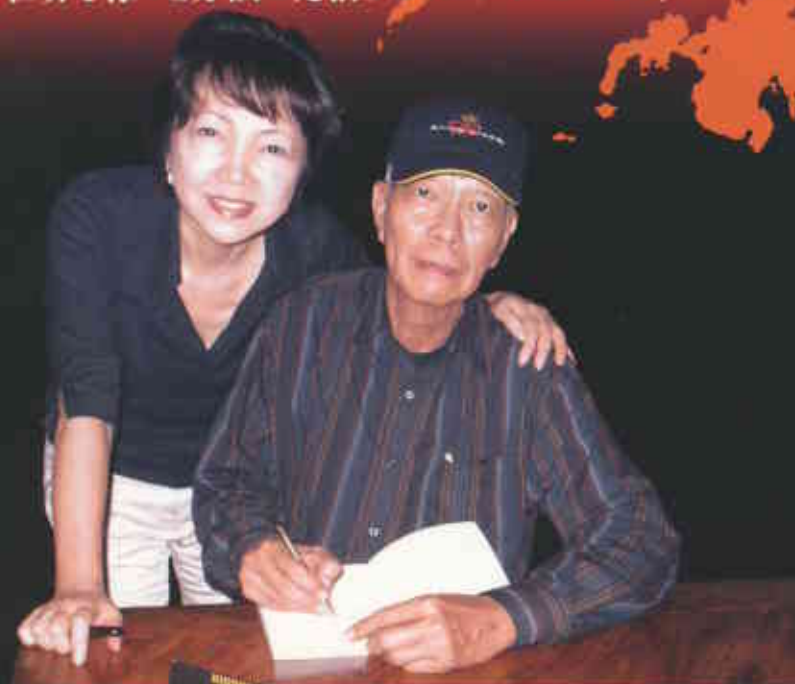




SIA-DAY

高樹のぶ子と浸るフィリピン!

SIA(サイア)とは、芥川賞作家で九州大学特任教授でもある高樹のぶ子氏がアジアの文学作品を読み、作家と交流し、文字通り「アジアに浸る(soaked)」ことのできた世界を様々な方法で発信するマルチイベントです。



- ブリアンテス氏の作品と、それに呼応して書かれた高樹のぶ子氏の作品朗読。
- 高樹のぶ子氏がフィリピンを訪問して心の日で撮った写真と、ロングエッセイの朗読。
- 映像によるブリアンテス氏と高樹のぶ子氏の文学対談、フィリピンの今と未来、文学者の夢。
- 高樹のぶ子氏サイン会
- フィリピンのメレンガ(おやつ)を味わう。

●日 時 / 平成18年 **3月10日(金)** 11時～16時 (10時30分開場)

●場 所 / **アクロス福岡・円形ホール** 福岡市中央区天神1-1-1

当日はテキストとして朗読する短編を収録した最新号の新潮4月号(定価900円)を販売します。

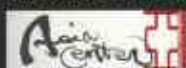
●主 催 / 九州大学アジア総合政策センター

●申込み方法 /

会場の都合上、参加できる人数には限りがあります。

①氏名 ②年齢 ③職業(九大生の場合は学部と学年) ④連絡先(住所、Fax/E-mail) ⑤これまでに読んだことがある高樹作品を明記して申し込んでいただいた中から、抽選によりご参加いただける方にはFaxかE-mailでお知らせをお送りいたします。当日はその受付票をご持参の上、ご来場ください。受付票をお持ちでない方は申し訳ありませんがご参加いただくことができませんので、ご了承ください。

●申込み先: E-mail/Faxのいずれかで下記までお申し込みください。



九州大学アジア総合政策センター

●申込み先 / Fax: 092-642-4435 E-mail: asia@isc.kyushu-u.ac.jp

●問合せ先 / Tel: 092-642-4433 <http://asia.kyushu-u.ac.jp>



- 福岡空港から天神まで地下鉄で17分
- J内線多摩川から天神まで地下鉄で5分
- 地下鉄天神駅より徒歩2分(100番出口)
- 吉野橋(天神)駅から徒歩7分

要申込み
締切 / 3月2日(木) 必着

SIA-DAY

高樹のぶ子と浸るフィリピン!

—理解を超えて愛するための一日—

第1回目の今回は、高樹のぶ子氏がフィリピンの作家グレゴリオ・C.ブリアンテス氏と出会い、同氏の故郷で短編「アンドロメダ星座まで」の舞台となったターラックを同氏とともに訪問し、彼の心のうちにあるフィリピンを語ってもらった成果を様々な形で発信します。

作品朗読、フォト・デッセイ(=写真とともにエッセイの朗読)、対談の映像等を通じてあなたをフィリピンへの旅へと誘います。

高樹のぶ子

(九州大学特任教授・作家)

「光抱く友よ」で戦後生まれの女性として初めての芥川賞受賞。

「水脈」で女流文学賞、「透光の樹」で谷崎潤一郎賞受賞。

男女の関わりを中心に人間心理の機微を物語性豊かに描く。

映画化・ドラマ化、多数。

芥川賞、三島由紀夫賞、大佛次郎賞などの選考委員を務める。

2005年10月から九州大学アジア総合政策センター・特任教授。



Focus

今回はフィリピンの作家であるグレゴリオ・ブリアンテス氏の作品を取り上げます。

ブリアンテス氏は1932年フィリピンのルソン島中部、ターラック州のカミリンの町で生まれました。

アテネオ・デ・マニラ大学でジャーナリズムを専攻し、作家、ジャーナリストとして活躍されています。

フィリピン文化センター賞や東南アジア文学賞等を受賞した他、2004年に出版されたLooking for Jose Rizal in Madrid Journeys, Latitudes, Perspectives, Destinationsは国立文学賞エッセイ部門を受賞されました。

お申込み

◎送信先/Fax:092-642-4435

氏名(ふりがな)	年齢	所属(勤務)先 ※九大生の場合は学部と学年
	歳	
連絡先(住所)	(Fax/E-mail)	

これまでに読んだことがある高樹作品